

自治会報

さがみはら

No.53

平成20年（2008）11月発行
発行部数 20万部

発行責任者 相模原市自治会連合会 会長 細谷 昇

題字 相模原市長 加山 俊夫

つくりだそう自治の力で明るいまちを

相模原市自治会連合会の現況

地区自治会連合会数	22
自治会数	592
加入世帯数	180,282世帯
班（組）数	11,808

H.20.4.1現在

事務局 〒229-0036 相模原市富士見6-6-23けやき会館内 TEL.042-753-3419 ●〒229-8611 相模原市中央2-11-15相模原市役所市民協働推進課内 TEL.042-769-8226



**地域を元気にする
提言をまとめました！**

去る6月27日、市役所本庁舎において、相模原市自治会連合会が1年間かけて自治会の未加入者対策などを検討してきた「地域を元気にする検討会議」の提言書を、細谷相模原市自治会連合会会長より、加山相模原市長、小澤公民館連絡協議会副会長、吉本市社会福祉協議会会長へ渡す提議式を開催しました。

今後は、この提言書の実現に向けた取組を関係機関に要請するとともに、相模原市自治会連合会としての積極的な取組を進める予定です。

（3面に関連記事）

「創立40周年・津久井地域自治会連合会との統合記念」

地域は元気で頑張っています！



7月5日（土）市民会館ホールにおいて、創立40周年・津久井地域自治会連合会との統合記念平成20年度自治会大会を開催しました。

当日は、相模原市長をはじめ、衆、参、県、市議員などのご来賓及び多くの自治会員の方々にご来場いただき、盛大に行われました。

式典の部では、地域活動功労者として個人101名、9団体及び退任理事3名に感謝状が贈呈されました。また、第2部のアトラクションでは、「相模龍王太鼓保存会」、「星有子」の皆さんをお迎えして、熱のこもった演目を披露していただきました。



（新磯地区）相模の大凧まつり



（上溝地区）上溝夏祭り



（橋本地区）橋本七夕まつり

平成20年度自治会大会

(要旨)

細谷会長あいさつ
本日は、皆様方におかれましては大変お忙しい中ご参加をいただきまして、ありがとうございます。

また公私共にご多忙の中、加山市長をはじめ多くのご来賓の方々にご参加いただきまして厚くお礼申し上げます。
本連合会は、今年度創立40周年を迎えました。

だが、現在ではその複線化も完了し古淵駅も開設しております。
多くの先輩方により、その時々の課題に向けて、様々な取組をしていただきました。
40周年という記念すべき年に、本連合会は津久井4町との統合を4月1日に果たしました。

境は大変厳しいものがございますが、40周年を時代の区切りとして新たな展開をしてまいります。
自治会活動は、交通・防犯・防災・生活環境また青少年の健全育成等多岐にわたっておりますが、地域において多面的に活動できるのは自治会であると思っております。

市自治会連合会理事
視察研修会報告
本年度は、6月26日、浜松市自治会連合会を訪問しました。
浜松市は、平成17年7月に天竜川・浜名湖地域の12市町村合併により誕生し、平成19年4月に全国で16番目の政令指定都市となりました。

自治会連合会が全体の調整を担当しています。
自治会加入率は、96%。これは、戦時中、航空基地や軍需工場などがあつたため、空襲により旧浜松市の大半が焼失し、戦後の復興活動を自治会が中心となって進めてきたこと、東南海地震に対する自主防災活動など、自治会への意識がもともと高かったためです。

- 小 山 村瀬 守男 五十嵐秋夫
内藤 央夫 神田 康男
清 新 加藤 和夫
横 山 田部井勝治
中 央 青木 守市 篠宮 厚喜
秋葉 秀二 山岡 文彦
山口 勝己 岩佐 和夫
星が丘 村田 和也 石井 政尚
小島 正次 関田 勝利
光が丘 大塚 英夫
橋 本 井上 恵夫 鈴木 忠彦
小泉 壽弘 真藤 久義
鈴木 眞澄 高野 義宣
大野北 笹本 省三 小林 秋彦
木曾弥三郎 小松 信夫
田中 友子 金子 三郎
大野中 青木紀久義 村田 諭
九嶋 正 藤井 信夫
漆山 晃輔
大野南 渡邊 浩行 薄井 大二
見川 光志 石山 秀夫
市成 直治 寺澤 縫子
大 沢 内山 正春 徳永 文博

- 田 名 田所 三郎 和田 守弘
田所 壯夫 大沼 勲男
上 溝 新谷富美夫 岡地 晋吾
関田 昌幸 水戸 吉郎
麻 溝 小杉 久夫 田邊 輝夫
小杉 茂 遠藤 正洋
押山 三三
芝崎 三三
新 磯 中島 道明 中村 公博
小野寺征夫 安藤 和生
田中 敏夫 内 泰弘
相模台 永里マツエ 鈴木 博雄
東 仁郎 番匠 光雄
藤井 春三
相武台 山口 一男 坂口 良昌
山口 勇男 浅田 誠一
石井 正弘 田中 信行
除村 彰
東 林 阿部 匡秀 島田 哲夫
佐川由美子 鈴木喜四郎
荒川 二郎
城 山 赤木 勤 藤井 保
八木 征一
津久井 松本 弘幸 古宮 國男
向山 武 山内 勝二
新井 昌明 尾崎 等
永井 靖明

- 相模湖 榎本 憲嗣 滝澤 進
江藤 弘一 高橋 律
神保 金利 澤塚 正史
藤 野 長谷川幸雄 白井 昭
大木 敏男 山崎 光正
杉本 耕一 佐藤 任弘
眞下 恵二
功勞表彰者(個人) (敬称略)
功勞表彰者(団体)
矢部第1自治会 (中央)
千代田2丁目自治会(星が丘)
青葉3丁目自治会(光が丘)
自治会法人相原当麻自治会(橋本)
高根一丁目自治会(大野北)
松原自治会 (麻溝)
新戸唯子保存会 (新磯)
城北自治会 (城山)
自治会法人久沢自治会(城山)
退任理事 (光が丘)
神澤 松男
山口 省吾
木俣 壽保 (東林)

代表 木曾弥三郎氏挨拶

- 報告
①専決処分について
議案
①平成19年事業報告
②平成19年度決算報告
③平成20年度事業計画
④平成20年度予算
⑤地域を元気にする検討会議提言書

平成20年度定期総会が開催されました。
6月7日(土)、午後1時30分から、けやき会館で各地区から選出された大会委員が参加し、平成20年度定期総会が開催されました。(委員80名出席、20名委任状提出)
来賓としてご出席いただいた加山市長、稲垣市議会議長及び吉本社会福祉協議会会長からの祝辞のあと、白井委員(田名地区)及び山村委員(新磯地区)を議長に選出し、各委員の熱心な討議の結果、次の議案・報告が承認・可決されました。



自治は笑顔と協働から 平成20年度 相模原市自治会連合会役員・理事

Portrait grid of the board members and council members of the Sagami Prefecture Federation of Municipal Associations for the 20th Heisei term. It includes the President (細谷 昇), Vice Presidents (田所 昌訓, 吉山 茂利), and various regional council members (理事) such as 佐藤 彰夫, 小林 茂裕, 山崎 光正, etc.

地域を元気にする検討会議提言書の概要

地域を支える中心的団体である自治会は、少子高齢化の影響や考え方の多様化などの要因により、加入者や担い手の減少など自治会活動を行う体制の確保が厳しい状況になってきています。

こうした中、相模原市自治会連合会は、昨年7月より「地域を元気にする検討会議」(座長 追切市自治会連合会理事)を内部検討組織として発足し、地域をともに支える公民館や社会福祉協議会、旧津久井郡4町の自治会関係者及び行政職員(合計16名)の構成で、約1年間にわたる議論を行い、その結果を提言書としてまとめました。

提言は、自治会連合会及び自治会、公民館、社会福祉協議会、行政と対策を実現する組織ごとにまとめてあります。

自治会だけでなく、ともに地域を支える団体等に対して、提言書に基づく具体的な取組をお願いするとともに、自治会連合会自らも、積極的な取組を進める予定です。

- 【提言内容と実行計画(案)の抜粋(以下、(実)として記載)】
- ◆自治会連合会及び自治会への提言
 - 地域防災 (実) 避難所を運営できるリーダー育成
 - 自治会未加入者対策 (実) 効果的な加入交渉の実施
 - 親睦・ふれあい活動 (実) マンネリ化した行事への対応
 - 地域人材育成 (実) 新任自治会長への研修の開催
 - ◆公民館への提言
 - 地域防災 (実) 地域の防災対策に関する講座の企画
 - 自治会未加入者対策 (実) 公民館利用者団体への呼びかけ
 - ◆市社会福祉協議会及び地区社会福祉協議会への提言
 - 地域防災 (実) 災害時要援護者に対する地区での連携、調整
 - 自治会未加入者対策 (実) 地区社協活動時の自治会加入PR
 - 共同募金等 (実) 募金の配分や用途についての住民周知の拡充
 - ◆行政への提言
 - 自治会未加入者対策 (実) 転入時受付窓口での加入促進事業
 - 地域活動支援 (実) 実行性の高い防災活動支援策

「地域を元気にする検討会議」 座長 追切 陸廣

この提言書は、私たちの住む地域社会を快適に、また安心して暮らせるために「自治会を活性化し、地域を元気にしたい」との願いを込めて、自治会をはじめ、関係する団体の皆様や行政の参画を得まして、様々な角度から検討を重ねてまいりました。

提言書に盛り込まれた内容については、皆様が常日頃お考えのことばかりだと思います。

特に行政には、積極的にご協力をいただき、既に何件かは実施済のものもあります。

皆様にも提言書に基づいた取り組みを積極的に展開していただくことを期待する次第です。

既に実施した事業



自治会加入を呼びかける横断幕の掲示
市役所本庁舎、各出張所公民館、JR相模原駅、橋本駅、小田急相模大野駅などに掲出



地域活動を知る職員研修の実施

地域活動の実態を知る体験研修として、6月24日に市の若手職員18名に対するガイダンスを実施。6月～9月までの間に、3人1チームとなって3～4自治会に体験取材しました。

この報告会が、一般職員向けに10月16日に開催され、「自治会活動へ積極的に参加しなくては！」といった声が数多く聞かれるなど、相模原市の「地域力」を考える有意義な機会となりました。



自治会加入相談ブースの設置

市役所本庁舎ロビーにて、本年3月24日から26日まで、市民700人に対してパンフレット等を配布しました。申込書の提出3件、自治会長の連絡先を伝えたケース14件、自治会連合会事務局への加入申し込みの電話2件がありました。

人物紹介



この欄では、各界で活躍される方を紹介していますが、今回は星が丘地区の横山にお住まいの志田富雄(しだ とみお)さんです。

サラリーマンから転身

私は、昭和11年山梨県甲府市生まれです。サラリーマンで転勤により、昭和35年秋から相模原に住むことになりました。その後、印刷業を開業し今日に至ります。

横山地区自治会連合会

では、昭和58年度から昭和60年度及び昭和63年度に横山南部自治会で総務副部長を、また平成元年度から平成5年度までは、同じく会計監査を務めさせていただきました。

現在は、社団法人日本詩吟学院岳風会総本部参事として、正師範という立場で後進の指導にあたっております。

歌謡吟詠の志田紫岳は、私の長女です。妻、長男の嫁、小5の孫も詩吟を愛好し、文字通り詩吟一家と言われているようです。

詩吟との出会いは?

小学校3年生の秋、学芸会で担任の先生が吟じたのを聞き、詩吟独特の高低、抑揚に深い興味を覚え、当時は、占領軍司令部(GHQ)から詩吟は軍国

調であるとして差し止めのお願いがあり、戦後数年間は自由に吟じることができませんでした。やがて和歌の朗詠がラジオから流れ、聴衆の中から詩吟が許されるならば私もやりたいという風潮が現れ、昭和27年頃には本格的に吟詠大会も開催されるようになりました。宗家がたくさん出てきて、戦後のブームと言われるようになりました。

先生でした。市内の活動では、高齢者学級、あじさい大学詩吟科の発足時より講師の依頼を受け、詩吟の基礎、呼吸法、発声法をしっかりと身につけてもらえるよう努めております。今後も引き続き「楽しい老後」をモットーに頑張ります。市がこの講座を開設してくださったことには大変感謝しています。

どうして詩吟?

民謡や浪曲等もあるのに、どうして詩吟なのでしょう。民謡や浪曲は、詠うのに長い時間を要するのに対し、詩吟は短時間で聴く人に訴えかけることができるからです。

詩吟は、漢詩を日本語に翻訳して言葉に余韻をつけて長く引いたり短く切った

りして作者の思いを朗々と吟ずるものです。もちろん詩吟にも長いものはありますが、普通は絶句と称する4行詩で、起句、承句、転句、結句から成る詩で2分以内で吟じ終えるのが普通です。律詩は8行詩といいますが、音階は「ドレミファソラシド」の音階ですが、詩吟では、「らしどみふあらしど」の音階を使います。詩吟の音階は、吟ずる時「一音上がリ一音下がりの原則」という約束がありまして、これを把握すれば誰にでもできるようかとこの講座を

う部位。心身の精気が集中するところの意)を突き出していったばい息を吸い、その息を大切に吐き出しながら、言葉と余韻を発生するので、言葉は明瞭に、余韻は間合いを大切に引いて感情を表現します。1「声」、2「節(余韻)」、3「品」などと言われています。大きな声を出すことでストレスを解消し、新鮮な空気をいっぱい吸って血液を浄化し、一生懸命吟ずると汗が出てきます。運動したのと同じ効果があるそうです。

今後力を入れていきたいことは?

現在、詩吟を支えている人達は高齢者が多く、このままでは先細りとなってしまいます。これからは、若い指導者

の育成が急務と考えております。昔は詩吟といえ書生さんが巷で高吟して、一般の人達に広がっていったそうです。大変難しいことかもしれませんが、行政を通じて学校教育に取り入れてもらえれば、親子で吟ずることも夢ではありません。

これからは、若い若きも、皆が地域で語り合ったり、吟じ合えたら良いですね。

横山南部3・5丁目 笹野自治会長談

健康の秘訣は?

詩吟は、腹式呼吸で膈下(たてか)丹田(へその下の丹田)とい



漢詩俳句トレーナー

ふるさとまつりは 2自治会協同で開催

横山地区
横山南部4丁目自治会
会長 土屋 正芳

我々が「横山南部4丁目自治会」は、120世帯の活動を始めてきた4年目の自治会です。5年前まで、「横山南部自治会」として、横山3・4・5丁目の370世帯で39年の歴史を刻んできました。

自治会内で公民館区・学区が分かれていたため、「横山南部3・5丁目自治会」を星が丘地区へ、「横山南部4丁



子ども会の模擬店風景

「自治会」を横山地区へと分割し、共存を基本に新たな道を歩んでいくことになり、現在に至っています。

「会員誰もが相互に顔の見える自治会作り」を目指し、地域内の防犯パトロール、子ども会と協力し学童の登下校時のパトロールを行なっています。

横山地区のふるさとまつり、運動会、防災訓練、レクリエーションなどには、毎回多くの会員の皆さんの参加協力を得て楽しんでおります。

「横山南部4丁目自治会」と「横山南部3・5丁目自治会」との協同事業である、8月の「横山南部ふるさとまつり」は27回を迎え、花籠の会・横山睦会（ゆめクラブ）、あさかぜ・太陽子ども会、中学生ボランティア（上溝・清新中学校生）の協力を得て、盆踊り、模擬店、抽選会、子どもみこしパレード等、二日間にわたり盛大に行うことができました。

これからもそれぞれこの交流を深めた自治会運営を心がけたいと思います。

地区拠点を中心に まちづくり

星が丘地区自治会連合会
会長 野中 保

星が丘地区の歴史は、太平洋戦争下の旧日本陸軍造兵廠従業員のために、県営住宅が建設されたことから始まります。

当時の住民のほとんどが勤めていた造兵廠に因んで、陸軍の星のマークと高台から見える星の美しさから「星が丘」(当時は星ヶ丘、昭和四年七月一日の住居表示で変更。)と命名されました。

戦後、昭和三年に、星が丘小学校が上溝小学校の分校として開校、翌年四月には相模原町立の第十一番目の小学校として独立し、現在、小学校には、公民館とともセンターが併設され、地区の様々な事業の拠点となっております。



星が丘小 子ども安全見守り隊

この地区が、特に他の地区に誇れるのは、防災・防犯対策で、平成十二年度から実施している星が丘小学校での「夜間防

災訓練」を筆頭に、平成十四年度から実施している「子ども安全ネットワーク」による防犯ブザー配布、平成十九年度から実施している「星が丘子ども見守り隊」による児童の見守り等、地域主導による活発な取り組みがなされています。

自治会長研修会で 切磋琢磨！

光が丘地区自治会連合会
会長 平林 清

光が丘地区自治会連合会では、去る5月18日(日)、光が丘地区内の自治会長28名が参加し、自治会活動の基本から学び、自治会長研修会を開催しましたので、紹介します。

今年度の自治会長は、28人中22人の方が新任のため、初めて自治会長になられた方が大半です。

災害に備えて

東林地区自治会連合会
会長 金子 匡甫

東林地区は、小田急線の2つの駅がある交通事情に恵まれた、住みやすい地域です。反面、通勤者が多く、在宅の高齢者が多いなど、災害発生時には、住民同士の一層の連携が求められる地域でもあります。最近の東林地区での防

会の活動、概要、関連団体と組織、自治会加入率」等について学習しました。

グループ討議 グループ討議では現在各自自治会が直面している課題等を話し合い、リラックスしたムードの中で進められました。主な議題として①自治会の役員の手が足りない、②自治会未加入者の対策について討議しました。

対する妙案は見出せませんでした。自治会長が抱えた悩みや課題がお互い相談でき、他の自治会の取組方法が習得できたことは大きな成果と言えます。

災害の取り組みの一端をご紹介します。

◎地区内5つの小中学校に設置される避難所運営協議会の全箇所早期設立と円滑な運営を図るため、7月に、全避難所運営委員などによる合同会議を、8月には、自治会長や防災部長も加った、地域防災訓練及び避難所運営協議会の合同訓練説明会を開催しました。これを踏まえて、9月6日には、地区の総合防災訓練とし

アンケート結果
研修会後のアンケート調査では、95%の自治会長が、「良かった」又は「まあまあ良かった」と答えています。が、「時間が足りなかった」との意見もあり、グループ討議を中心とした第2回の研修会を11月に実施することになりました。

全体として、自治会長の悩みや課題が共有でき、情報交換・親睦が図れるなど有意義な研修であったと感じています。



は、「災害時には、地域の役に立ちたい。」など力強い声を聞くことができました。

◎東林地区では、今後、きめ細かな訓練や対策を講じながら、住民が一体となって災害に強いまちづくりに取り組んでいきます。



「ヤング防災ボランティア体験教室」ロープワーク訓練風景



グループ討議の様子

むかし 昔 No.41

「美女谷」と「照手姫」

相模湖町地区

郷土史研究者

中里 利夫

室町時代に生き、小栗判官との悲恋で知られる「照手姫」の伝説は、日本各地に伝承されており、相模湖町にもその伝説が残されています。

今からおよそ600年前、底沢に若い武士の夫婦が住んでいました。こ

の夫婦は子どもに恵まれていませんでしたが、この地に人々が崇めていた観世音菩薩に願いをかけると、かわいい姫が生まれたそうです。

地名となる。」と記され、この地が美女谷と呼ばれる由来は、ここにあるとされています。



七つ淵

都県境の小仏峠より甲州古道を2km程下ると、美女谷の道標があり、そこから北に上っています。これが、照手姫が髪を洗



小原宿本陣

甲州古道の美女谷の道標を1,500mほど南下しますと小原宿本陣が現れます。小原宿本陣は、神奈川県下26軒あった本陣で現存する唯一の建造物です。定紋のついた敷居の高い玄関と純日本風の豪壮な建物は、往時の姿をそのまま残しており、神奈川県の重要文化財に指定されています。



照手姫について (看板)

ったという伝説の残る「七つ淵」になります。美女谷の名に相応しいはずまいは、地域住民の皆様により大切に守られています。皆様も是非ご探訪ください。



照手姫の木影



ご案内とお願い

「自治会報 さがみはら」は、皆様の会報です。自治会・地域での様々な活動・話題などの情報やご意見をお寄せください。

お問い合わせは、相模原市自治会連合会事務局 (042-753-3419) Email: info@sagamihara-jichin.jp

自治会報 さがみはら

編集委員

- 金山 勝郎 (橋本)
- 金子 匡甫 (東林)
- 武井 弘吉 (小)
- 原 照司 (橋本)
- 関田 俊明 (上溝)
- 小峰 武 (相模湖町)
- 八木 次夫 (大沢)
- 藤井 保 (城山)
- 菅野 賢司 (星が丘)
- 宍倉 武美 (大沢)
- 吉光寺 敏男 (相模湖町)
- 安田 良夫 (藤野町)